

当該分野の現状と課題のまとめ

■ 練馬区の現状 ■

(1) 生涯学習

- 練馬区では生涯学習団体の登録制を行っており、平成18（2006）年度の登録団体数は約1,900である。
- 生涯学習講座は、多分野かつライフステージに応じて実施されている。
- 公民館の利用は年間22万人を超え、区民の生涯学習拠点となっている。近年、サポーターズ講座を開講し、区民と諸団体、区の協力による協働型の講座も展開している。
- 青少年館では、文化教養講座をはじめ、スポーツ講座や屋外講座など多様な分野の事業を実施し、小学生から青少年までの各層の子どもの利用が図られており、青少年以外の一般団体を含めると年間利用者は10万人を超えている。また、障害がある人達の様々な生活課題や学習要求に応じられるよう心身障害者青年学級を4学級開設している。
- 練馬区が保有する少年自然の家は、小中学校の課外授業以外にも広く利用されている。
- 美術館は、日本の近・現代をテーマとした企画展や収蔵作品展を開催するほか、創作室や一般展示室などの貸し出し、ワークショップの開催などの教育普及活動、美術作品の収集活動などを行っている。近年は、ボランティアとの協働事業にも力をいれている。
- 総合教育センターは、社会教育・学校教育の充実や向上に加え、地域住民の交流と自主的活動の場を提供する場として設置されており、各種の学習需要に応じている。
- 区立図書館は11館、130万冊の蔵書、11万点を超える各種資料を有しているが、人口に比べ十分でないことから、図書館予約資料受取窓口（高野台）の活用や（仮称）南田中図書館の整備によって、区民サービスの向上を図っている。
- 図書館の一般図書貸出数は約460万冊、CD・カセットテープ等資料貸出は約78万点となっており、近年は横ばい状態にある。また、利用登録者数は25.6万人であるが、わずかに減少している。

(2) 生涯スポーツ

- 総合体育館の他、5つの体育館が配置され、年間100万人を超える利用がある。
- 平成14（2002）年、6つの総合型地域スポーツクラブ（SSC）を立ち上げ、地域スポーツ活動を推進している。
- だれもがスポーツに参加できるよう各種のスポーツ事業を実施しているほか、スポーツリーダーを養成して、地域スポーツを牽引する人材確保にも努めている。

(3) 青少年健全育成

- 青少年の健全育成に向け、環境浄化に努めるとともに、青少年問題協議会等の組織が、青少年育成支援活動を推進している。

(4) 学校応援団・学校開放

- 地域人材の活用と学校施設の有効活用による地域に開かれた学校づくりとして「学校応援団推進事業」が展開され、現在11校で設置されている。
- 小学校の余裕教室を利用した教室開放は23校で実施し、90,000人を超える利用者がある。
- 学校体育施設では、校庭、体育館、プールを地域のスポーツ活動拠点として開放している。校庭開放は、69小学校、100万人程度の利用があり、体育館は、36校（32小学校、4中学校）で約170,000人、プールは9校（小学校）で約7,000人の利用がある。
- 学校図書館は、45小学校で20万人を超える利用者があり、10万冊を超える貸出冊数となっている。

当該分野の現状と課題のまとめ

■ 関連する計画・主要事業 ■

<<計画等>>

- 「生涯学習支援プラン21（第3期）」（平成19年3月）
- 「練馬区子ども読書推進計画」（平成16年3月）

<<主要事業>>

- （仮称）わかものスタート支援事業
- （仮称）高野台生涯学習センターの設置
- （仮称）南田中図書館の整備
- 総合型地域スポーツクラブの育成・支援
- （仮称）豊玉・中村地域交流スポーツセンターの整備
- （仮称）ふるさと文化館の整備
- 学校応援団の設置

■ 区民の意識 ■

- 文化芸術の振興や生涯学習・スポーツ振興に係る施策への満足度（「満足」「どちらかといえば満足」と答えた割合の合計）は57.2%、同様に、文化財や伝統文化の保存・継承に係る施策についての満足度は61.9%、青少年の健全育成に係る施策の満足度は46.5%となっている。（「区民意識意向調査（平成18年度）」より）
- 区民の地域スポーツクラブに対する希望では、「いつでもだれでも気軽に参加できるようにすること」（56.6%）「会費が安いこと」（47.3%）が高い割合となっている。（「区民意識意向調査（平成17年度）」より）

■ 当該分野の課題 ■

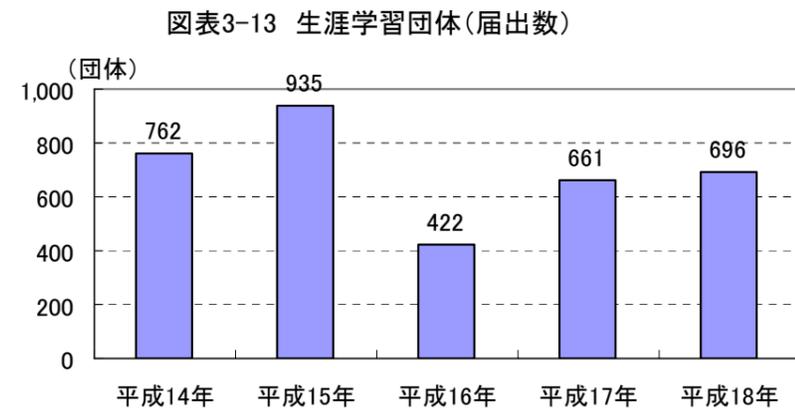
- 「生涯学習プラン21」に基づき、「学び」が単に学習者個人の中で完結することなく、学習者相互の「学びあい」にまで進むことができるよう、事業の内容や運営方法を常に見直し続ける必要がある。
- 各小学校に、PTAや町会・自治会、青少年委員などからなる「学校応援団」を設置して、地域の核としての開かれた小学校づくりを推進していく必要がある。
- 伝統的な文化や文化財を、開発との調整を図りながら保護していくと同時に、区民の方々がそれらの文化遺産を地域で活かし、継承していく仕組みを整備する必要がある。
- 図書館においては、予約された資料の受取・返却専用施設の駅近接地域等への設置など利便性の拡充や、業務の効率化などを図る必要がある。また、子どもの読書活動の意義の啓発と発達段階に応じた支援を一層充実させる必要がある。
- いつでも、だれでも、いつまでもスポーツに親しめる地域スポーツ環境の整備を行うとともに、区民主導のスポーツ活動を支援するため、各種スポーツ事業のスポーツ団体への委託や、スポーツ団体の育成、地域スポーツ指導者の育成と確保などを行う必要がある。
- 青少年に対し、多様なニーズや発達段階にあった活動の機会と場の提供を行う必要がある。また、家庭における教育力を学校や地域で支えていくとともに、家庭・学校・地域・関係機関がそれぞれの役割や機能を発揮し、一体となって青少年の健全育成に取り組む必要がある。

当該分野の現状を示すデータ

(1) 生涯学習の状況

①生涯学習事業の概要

■届出された生涯学習団体は約700団体(文化団体のみ。スポーツ団体を含めると約1,900団体)におよび、区民の自主的活動が活発である。生涯学習関連講座は、文化財講座(年間681回)、人権学習講座等が積極的に展開されており、また、子ども対象の体験活動「ねりま遊遊スクール」も開設されるなど、ライフステージに応じた事業が実施されている。



図表3-14 文化財講座

年度	開催回数(回)
平成15年度	646
平成16年度	964
平成17年度	681

図表3-15 生涯学習相談件数

年度	相談件数(件)
平成15年度	88
平成16年度	74
平成17年度	234

注)各年とも3月末現在
資料)練馬区「平成18年版教育要覧」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成 資料)各年とも練馬区「教育要覧」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

図表3-16 ねりま遊遊スクール

年度	ねりま遊遊スクール(子どもの居場所)		
	講座数	開催回数	延参加者数
平成14年度	266	-	12,594
平成15年度	379	-	18,206
平成16年度	251	425	20,688
平成17年度	403	427	14,018

年度	ねりま遊遊スクール(子どもによる講座づくり)		
	講座数	開催回数	延参加者数
平成14年度	11	33	1,400
平成15年度	10	23	597
平成16年度	12	24	465
平成17年度	15	31	616

図表3-17 文化財の指定・登録件数

年度	区指定文化財(件)		区登録文化財(件)	
	年度内指定数	累計	年度内登録数	累計
平成13年度	1	36	5	136
平成14年度	-	36	7	143
平成15年度	1	37	7	150
平成16年度	-	37	11	161
平成17年度	1	38	7	168

資料)各年とも練馬区「教育要覧」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

図表3-18 人権学習事業の実施状況

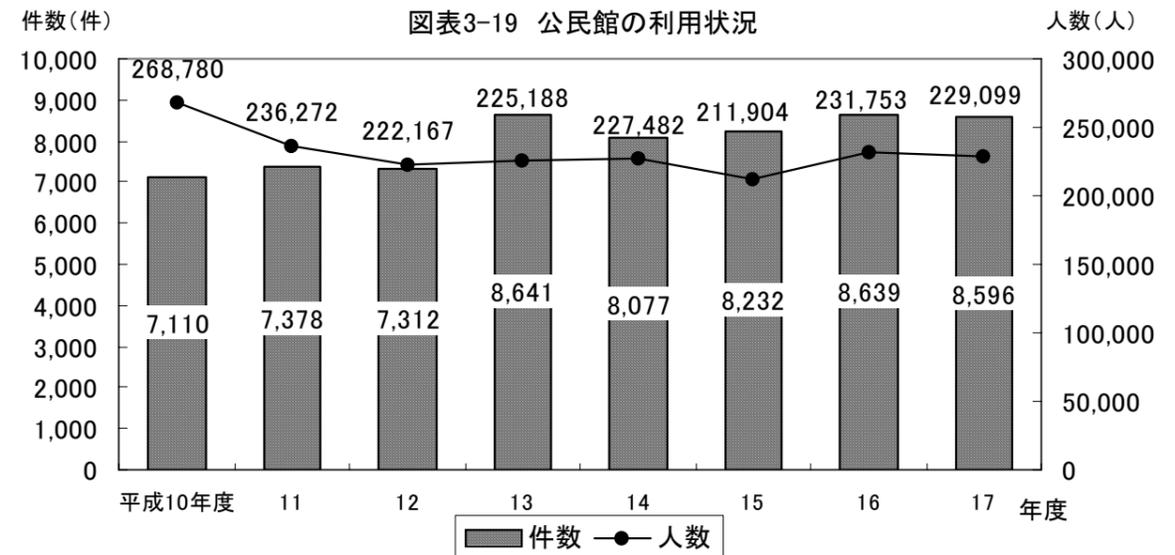
年度	基幹講座		特別講座		青少年のための人権講座		人権週間記念講演と映画の集い	映画会※
	延人数	開催回数	延人数	開催回数	延人数	開催回数	参加者	延人数
平成14年度	52	11	156	9	42	1	350	55
平成15年度	66	5	192	6	183	2	297	366

年度	人権セミナー		子どものための人権人形劇		青少年のための人権講座		人権週間記念講演と映画の集い
	延人数	開催回数	延人数	開催回数	延人数	開催回数	参加者
平成16年度	173	9	110	2	150	-	450
平成17年度	153	9	46	2	300	3	270

※)平成14年度はフィルムフォーラム 資料)各年とも練馬区「教育要覧」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

②公民館の状況

■公民館利用人数は、22万~23万人で定常化し、区民の生涯学習拠点となっている。近年、区民等との協働・参画によるサポーターズ講座が展開され、区民の力の活用・発揮が積極化している。



図表3-20 公民館の事業実施状況

事業名	実施状況
区民大学	21講座、延べ2,004人受講
寿大学	65歳以上対象 年2回、延べ4,172人受講
寿大学通信講座	60歳以上対象 書道・俳句の2科目、 延べ6,404人受講
寿大学通信講座スクーリング	講師による直接指導 年3回、延べ248人受講
寿大学通信講座書き初め展	年1回、307点出品
児童合唱団	毎週土曜日練習 演奏会4回
視聴覚事業	映画鑑賞会、名画鑑賞会、こども映画会 40回、延べ5,457人入場
サークル文化祭	年1回、延べ1,851人入場
区民文化祭	年1回、延べ11,552人参加
芸術鑑賞会	年6回、延べ1,281人入場
公開講座	8講座(大学4校、高校1校) 延べ1,527人受講
国際理解推進講座	1講座、延べ1,031人受講
サポーターズ講座	料理講座20講座、一般講座9講座、 延べ1,640人受講

資料)練馬区「平成18年版練馬区勢概要」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

当該分野の現状を示すデータ

(1) 生涯学習の状況

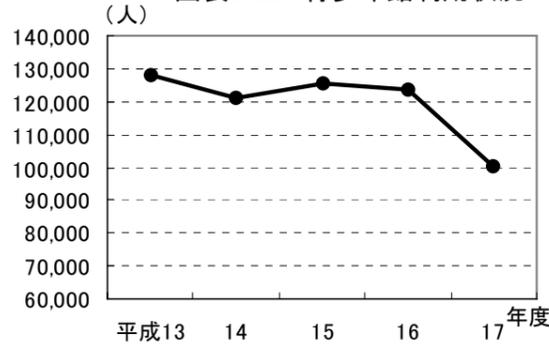
③ 青少年館の状況

■ 青少年館の利用人員は若干低減してきたとはいえ、年間10万人を超える利用となっており、文化・スポーツなど多様な分野の事業が実施されている。

図表3-21 青少年館別団体利用件数・人数状況

平成・年度		13	14	15	16	17
春日町	件数	5,603	5,254	5,806	5,846	5,935
	人数	94,570	86,428	88,574	87,858	76,504
南大泉	件数	3,403	3,305	3,289	3,255	3,274
	人数	33,478	34,771	36,793	35,997	23,927
合計	件数	9,006	8,559	9,095	9,101	9,209
	人数	128,048	121,199	125,367	123,855	100,431

図表3-22 青少年館利用状況



図表3-23 平成17年度の青少年館の事業内容

事業名	概要	延参加人数	開催回数	
心身障害者青年学級	あすなろ青年学級	15歳以上の肢体不自由な青年を対象とした学級	257	11
	ともしび青年学級	15歳以上の中・重度知的障害の青年を対象とした学級	579	12
	ひまわり青年学級	15歳以上の中・重度知的障害の青年を対象とした学級	388	12
	日曜青年教室	15歳以上の軽度知的障害の青年を対象とした学級	628	12
文化祭	青少年館まつり	若者の発表の場、交流の場	194	1
	子どもフェスティバル	幼児から小学生までを対象とした交流と遊びの機会	183	1
	サークル合同発表会	青少年館主催教室の卒業生等による発表機会	833	1
文化教養講座	青年自主企画	青年の発想と行動力を活かした自主的企画	23	8
	ヤングダンス講座	中学生から30歳を対象	371	27
	こども絵画教室	小学校4年生～6年生を対象	62	4
	おもしろ実験ゼミナール	小学校4年生～6年生を対象	49	3
	書道クラブ	小学校3年生～6年生を対象	355	16
	青少年将棋コーナー	青少年と大人の将棋を通じての交流	177	24
	折り紙教室	小学校2年生～6年生を対象	84	4
	和風づくり	小学校1年生～6年生を対象	26	2
演劇活動	児童劇教室	演劇の基礎を学び、寸劇の練習をする	112	6
	練馬児童劇団	児童劇教室の修了生による劇団。月3回練習	881	36
屋外講座(自然観察会)	小学校3年生～中学校3年生を対象に2泊3日の宿泊観察	43	1	
スポーツ講座	青年スポーツ講座(バレーボール)	青年を対象とした施設の開放	165	10
	こどもスポーツ講座	小中学生を対象とした施設の開放	629	40
	親子スポーツ講座	親子を対象とした施設の開放	875	38
	こども卓球教室	小中学生を対象とした施設の開放	660	41
	親子卓球教室	親子を対象とした施設の開放	905	40
	こどもけん玉教室	小中学生を対象とした施設の開放	295	10
	こども体操教室	小学校1年生～3年生を対象	450	15
音楽練習室利用講習会	音楽練習室の利用にあたって事前に講習会を受講する	82	6	
ちよこっとライブ	青少年の音楽活動の発表の場	20	2	
学習室	常設学習室	—	3533	—
	会議室開放(臨時学習室)	青少年を対象に、土日祝日、夏冬休みに実施	3018	—
	教室開放(臨時学習室)	青少年を対象に随時開催	7760	—

資料) いずれも練馬区「練馬区教育要覧」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

④ 少年自然の家の状況

■ 区保有の4か所の少年自然の家は、小・中学校の移動教室・林間学校以外にも広く利用されている。

図表3-24 少年自然の家の利用状況(学校利用を除く)

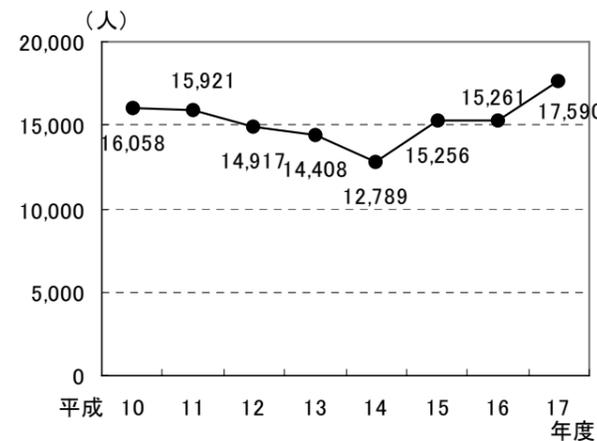
平成10年度	武石少年自然の家		岩井少年自然の家	下田少年自然の家	軽井沢少年自然の家
	本館	新館			
10	6,438	7,426	3,857	2,117	21,970
11	6,750	7,267	3,557	1,705	21,886
12	6,239	6,183	3,297	1,878	20,778
13	6,285	6,365	3,466	2,181	21,624
14	7,449	8,441	4,264	2,396	21,531
15	6,090	8,659	3,319	2,578	23,408
16	5,606	7,747	3,654	2,507	20,632
17	5,569	7,438	3,121	2,239	22,003

資料) 各年とも練馬区「練馬区統計書」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

⑤ 郷土資料室の状況

■ 郷土資料室の年間来館者数は、平均15,200人である。

図表3-25 郷土資料室来室者数

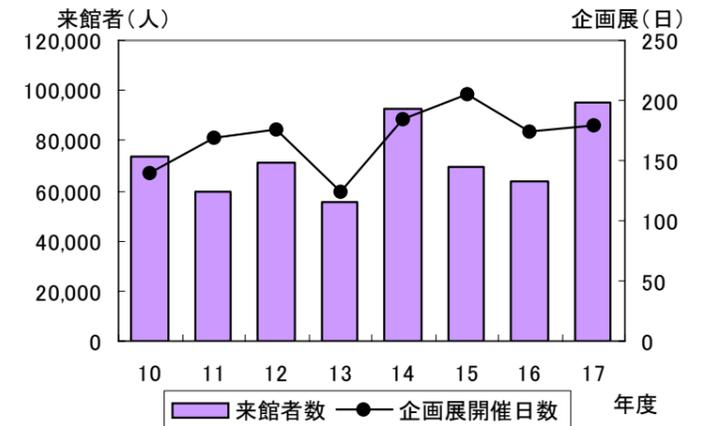


資料) 各年とも練馬区「練馬区勢概要」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

⑥ 美術館の状況

■ 美術館の年間来館者数は、平均約72,600人である。

図表3-26 美術館来館者数及び企画展開催日数



年度	10	11	12	13	14	15	16	17
来館者数	73,507	59,630	70,780	55,633	92,775	69,296	63,881	95,521
企画展開催日	164	169	176	125	185	195	175	179

資料) 各年とも練馬区「練馬区勢概要」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

当該分野の現状を示すデータ

(1) 生涯学習の状況

⑦総合教育センターの状況

■総合教育センターは、学校教育の質的向上を図る事業のほかに、生涯学習事業として、区民囲碁・将棋大会、ジュニアオーケストラの運営等の事業を実施している。

図表3-27 総合教育センターの利用状況 ()内は%

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
センター主催	20,724(12.8)	42,138(33.4)	23,629(31.8)	20,073(29.0)	31,115(35.1)
官公署	26,361(16.3)				
学校教育	6,383(4.0)				
公用計	53,468(33.1)				
一般区民団体	99,893(61.8)	76,059(60.3)	43,320(58.2)	41,234(59.5)	46,763(52.8)
個人利用	8,200(5.1)	7,895(6.3)	7,473(10.0)	7,957(11.5)	10,670(12.1)
合計	161,561(100.0)	126,092(100.0)	74,422(100.0)	69,264(100.0)	88,548(100.0)

注)平成14年12月はセンター移転準備のため貸出しなし

図表3-28 総合教育センターの事業実施状況

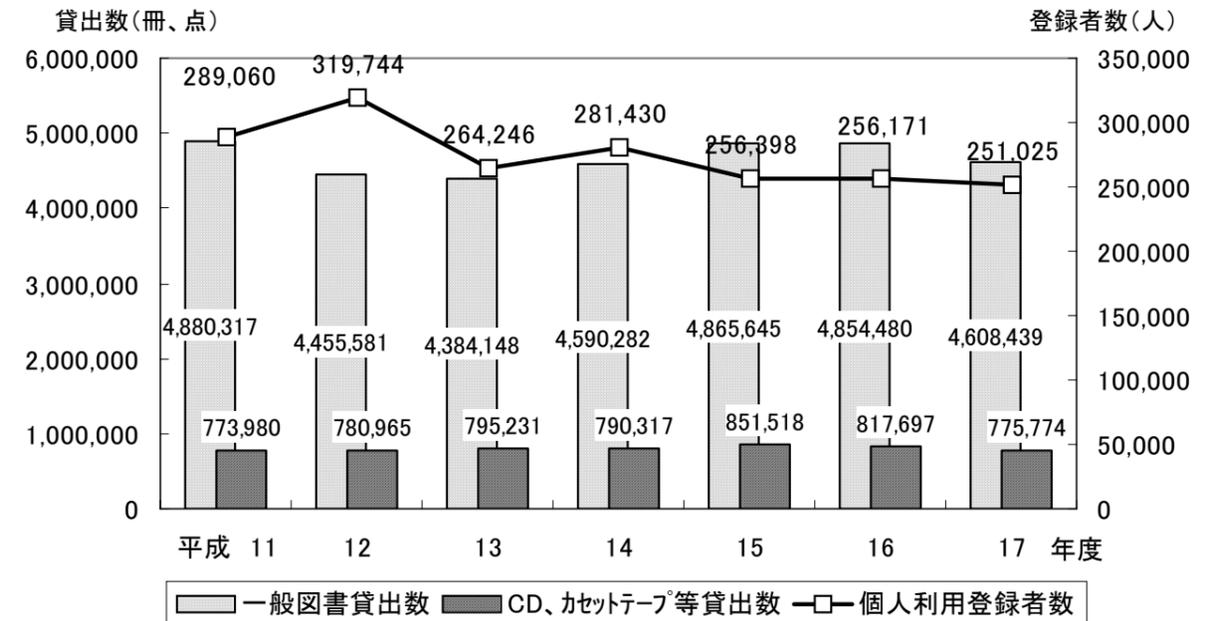
	事業	参加者等
平成13年度	16ミリ映写機の操作講習会	—
	子ども映画会	延入場者数 670人
	IT講習会	—
	夏休み工作室開放	延利用者数 33人
	ジュニアオーケストラの運営	—
	図書室の運営	貸出冊数 43,513冊
	地域住民の自主活動への支援	延参加者数 7事業、3,767人
平成14年度	区民囲碁・将棋大会	参加者数 囲碁大会201人、将棋大会101人
	子ども映画会	延入場者数 522名
	ジュニアオーケストラの運営	—
	16ミリフィルム等の貸し出し	16ミリフィルム貸し出し数 121件(317点) ビデオソフト 2,442件(6,887点)
平成15年度	区民囲碁・将棋大会	参加者数 囲碁大会183人、将棋大会102人
	子ども映画会	延入場者数 382名
	ジュニアオーケストラの運営	—
	16ミリフィルム等の貸し出し	16ミリフィルム貸し出し数 98件(373点)
平成16年度	区民囲碁・将棋大会	参加者数 囲碁大会183人、将棋大会118人
	子ども映画会	延入場者数 209名
	ジュニアオーケストラの運営	—
	16ミリフィルム等の貸し出し	16ミリフィルム貸し出し数 95件(386点)
平成17年度	区民囲碁・将棋大会	参加者数 囲碁大会166人、将棋大会128人
	子ども映画会	延入場者数 219名
	ジュニアオーケストラの運営	—
	16ミリフィルム等の貸し出し	16ミリフィルム貸し出し数 92件(344点)

資料)いずれも練馬区「教育要覧」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

⑧図書館利用の状況

■図書貸出,CD等資料とも貸出数は横ばい状態である。また、登録者数は減少傾向にある。

図表3-29 図書館の利用状況



注)各年度とも3月末現在
資料)練馬区「平成18年版練馬区統計書」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

図表3-30 図書館情報化サービス利用状況

利用者開放端末利用者数	33台	71,616人
利用パスワード登録者数		47,210人
Eメールアドレス登録者数		36,711人
インターネット資料予約数		864,008点
図書館情報ボックス利用者数		159,013件

注1)図書館情報ボックス:電話による自動音声応答システム
注2)平成17年度
資料)練馬区「平成18年版練馬区勢概要」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

当該分野の現状を示すデータ

(1) 生涯学習の状況

⑨ 図書館の所蔵資料の現状

■区内には11館の図書館が開設され、130万冊の蔵書と11万超の各種資料を備えている。ただし、人口に比して十分でないことから、図書館資料受取窓口(高野台)の活用や(仮称)南田中図書館の整備によって利便性の向上を図っている。

図表3-31 所蔵資料数 平成18年3月31日現在

		総数	光が丘	練馬	石神井	平和台	大泉	
図書	合計	1,372,833	261,938	133,302	139,886	119,424	146,451	
	一般書	853,534	155,895	84,673	95,859	80,011	89,218	
	地域資料(練馬)	21,009	4,050	2,949	3,524	1,603	1,833	
	地域資料(東京)	16,439	4,533	2,771	2,826	863	1,293	
	大活字本	10,540	1,899	1,274	950	1,104	1,310	
	参考図書	37,853	6,409	5,699	5,217	2,358	3,131	
	外国語	13,698	5,425	316	974	809	702	
	青少年向	59,557	15,380	909	1,555	1,951	5,146	
	児童図書	347,750	66,211	33,205	27,754	29,556	42,568	
	紙芝居	11,633	1,989	1,461	1,215	1,124	1,096	
	布の絵本	820	147	45	12	45	154	
その他の資料	合計	114,834	23,811	11,410	8,813	9,683	10,115	
	CD	86,830	15,734	10,404	6,420	6,169	6,719	
	カセットテープ	4,543	305	449	320	979	513	
	レコード	3,182	372	326	404	810	943	
	ビデオテープ	2,889	1,926	68	137	145	109	
	CD-ROM	0	0	0	0	0	0	
	昆虫標本	2,165	0	0	0	0	0	
	点字図書	3,395	3,385	0	0	0	0	
	新聞マイクロフィルム	9,746	1,660	0	1,377	1,395	1,658	
	雑誌(種)	1,803	382	140	134	162	146	
	新聞(種)	281	47	23	21	23	27	
	図書	合計	113,248	122,238	78,210	80,763	74,962	102,411
		一般書	70,905	71,972	50,138	46,819	43,169	64,875
地域資料(練馬)		2,555	1,882	644	582	662	725	
地域資料(東京)		1,896	1,079	344	407	144	283	
大活字本		743	1,165	296	734	214	851	
参考図書		4,462	3,174	2,158	2,341	955	1,949	
外国語		1,188	196	206	3,376	46	460	
青少年向		3,130	3,598	3,988	3,749	9,057	11,094	
児童図書		27,455	37,986	19,517	21,987	20,150	21,361	
紙芝居		700	1,122	911	675	546	794	
布の絵本		214	64	8	93	19	19	
その他の資料	合計	9,500	10,087	8,242	8,269	5,661	9,243	
	CD	5,984	7,600	5,618	7,793	5,512	8,877	
	カセットテープ	709	647	251	219	—	151	
	レコード	301	26	—	—	—	—	
	ビデオテープ	221	94	60	99	3	27	
	CD-ROM	—	—	—	—	—	—	
	昆虫標本	—	—	2,165	—	—	—	
	点字図書	—	10	—	—	—	—	
	新聞マイクロフィルム	2,112	1,544	—	—	—	—	
	雑誌(種)	145	141	134	133	123	163	
	新聞(種)	28	25	14	25	23	25	

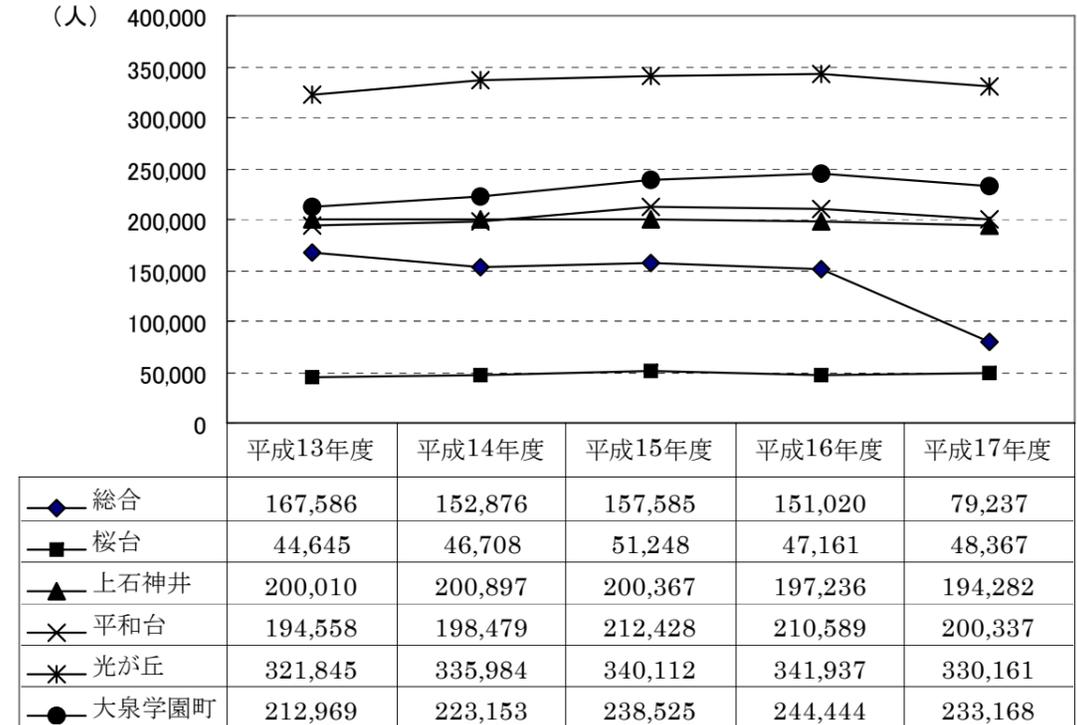
資料)練馬区「平成18年版練馬区統計書」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

(2) 生涯スポーツの状況

① スポーツ事業参加人数

■体育館利用者は横ばいもしくは、若干減少傾向にあるが、利用者は100万人を超える。

図表3-32 体育館の利用者推移



注)総合体育館は、平成17年10月1日～平成18年3月31日まで工事のため休館
資料)練馬区「平成18年版練馬区統計書」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

■区内6地域で会費制運営によるスポーツクラブが活躍し、38,000人が参加している。

図表3-33 総合型地域スポーツクラブ(SSC) 平成18年3月31日現在

クラブ名 (通称名)	設立年月日	主催・共催 事業参加者数
NPO法人SSC谷原アルファ (SSC谷原)	平成14年8月24日	7,232
NPO法人スポーツコミュニティー桜 (SSC桜台)	平成14年9月5日	4,362
NPO法人スポーツクラブホワイトエ 上石神井 (SSC上石神井)	平成14年12月17日	3,886
NPO法人総合型地域スポーツクラブ 平和台 (SSC平和台)	平成14年10月4日	6,750
NPO法人光が丘総合型地域 スポーツ・レクリエーションクラブ (SSC光が丘)	平成14年9月10日	5,969
NPO法人コミュニティネット SSC大泉 (SSC大泉)	平成14年8月13日	9,802

資料)練馬区「平成18年版練馬区勢概要」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

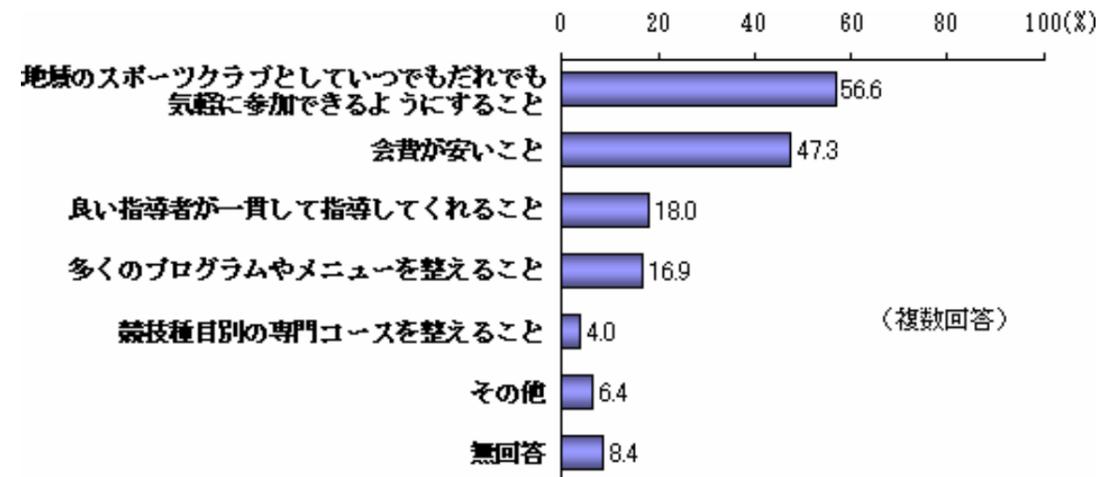
当該分野の現状を示すデータ

(2) 生涯スポーツの状況

②地域スポーツクラブ

■区民意識意向調査によれば、SSCに期待するものとして、「気軽に参加できること」「会費が安い」が高い割合である。

図表3-34 総合型地域スポーツクラブ(SSC)に期待するもの



出展)練馬区「平成17年度区民意識意向調査」

■スポーツの機会をひろげるために、各種大会の開催をはじめ、スポーツ教室、野外活動など多くの事業を提供している。

図表3-35 スポーツ事業

区分		内容および参加人数	
各種大会	区民体育大会	34種目	延べ20,580人
		総合開会式	598人
	都民体育大会	30種目	451人
	都民生涯スポーツ大会	14種目	150人
	城北地区競技会	6種目	288人
	少年野球大会	65チーム	1,086人
屋外活動	女性スポーツ大会	3種目	1,628人
	区民歩行会	2回	240人
	わんぱくキャンプ		68人
スポーツ教室		30種目、70教室	延べ19,715人
水泳教室	夏休み水泳教室	2校83組	150人
	初心者水泳教室	3期	3,993人
	ぜんそく児水泳教室	5期	2,047人
少年少女スポーツふれあいひろば		1回	745人
体育の日記念行事		5会場	8,300人

注)平成17年度実績

資料)練馬区「平成18年版練馬区勢概要」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

③スポーツ指導者

■生涯学習スポーツ団体1,205が活動している。また、指導者の育成・確保のために、スポーツリーダー養成講習会修了者を認定し、727人がスポーツリーダーとなっている。

図表3-36 種目別生涯学習スポーツ団体届出数

種目	団体数	
球技	バレーボール	138
	バドミントン	90
	卓球	97
	バスケットボール	73
	キャッチバレーボール	31
	野球	52
	ソフトボール	44
	サッカー	76
	テニス	22
	その他(球技)	11
	水泳	水泳
その他(水泳)		8
体操	体操	67
	健康づくり	58
	エアロビクス	21
武道	剣道	42
	空手	23
	合気道	13
	その他(武道)	27
ダンス	社交ダンス	47
	フォークダンス	18
	その他(ダンス)	56
その他	野外活動	28
	ニュースポーツ	62
	その他	8
合計	1,205	

図表3-37 種目別スポーツリーダー数

種別	計
チェックボール	22
バレーボール	22
バドミントン	64
卓球	63
水泳	146
陸上	3
レクリエーション	2
サッカー	1
テニス	3
ソフトボール	7
野外活動	1
ダンス	9
バウンドテニス	5
軽スポーツ	10
体操	40
健康トレーニング	3
ペタンク	15
ソフトバレーボール	40
グラウンドゴルフ	21
インディアカ	38
キャンプ	1
ラケットテニス	11
ターゲットバードゴルフ	12
カヌー	5
スポーツチャンバラ	6
ウォーキング	95
ユニバーサルホッケー	5
フットサル	43
ティーボール	15
水中運動	19
合計	727

注)平成18年3月31日現在

資料)練馬区「平成18年版練馬区勢概要」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

当該分野の現状を示すデータ

(3) 青少年健全育成

■ 青少年の健全育成に向けて、有害図書等の改善等環境浄化に努めるとともに、青少年の育成を支援する各種団体が活動している。

図表3-38 青少年健全育成のための母体

練馬区青少年問題協議会	区長の附属機関として設置されている。練馬区の青少年施策の基本的な方針や問題について審議し、その結果を協議会の意見として区に具申している。
練馬区青少年対策連絡会	練馬区青少年問題協議会の下部組織として、青少年問題協議会の諮問を受け、青少年育成活動方針(案)等の検討を行っている。
練馬区青少年育成地区委員会	地域住民のボランティア組織で、出張所を単位に17地区に設置し、平成18年4月1日現在、2,023人の委員が活動している。主な活動として、スポーツ、レクリエーション、文化活動などを通じた青少年の育成、不健全雑誌等自動販売機追放などの環境浄化活動を行っている。
練馬区青少年委員	小学校の通学区域から1人ずつ、小・中学校校長会から代表各1人の計71人を青少年委員に委嘱している。主として、ジュニアリーダーの養成、地域の子ども会事業、青少年の各種グループの育成などに携わっているほか、地域懇談会を開催するなど、地域・学校・区の連携を図っている。

資料)練馬区「平成18年版練馬区勢概要」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

図表3-39 不健全雑誌自動販売機などの調査結果

調査項目	平成15年	平成16年	平成17年
不健全雑誌・ビデオ自動販売機	55台	70台	53台
レンタルビデオ店	45店	46店	40店
成人向ビデオが置いてある店	45店	44店	36店
コンビニエンスストア	201店	204店	203店
24時間営業の店	167店	174店	173店
成人雑誌を販売している店	168店	158店	175店

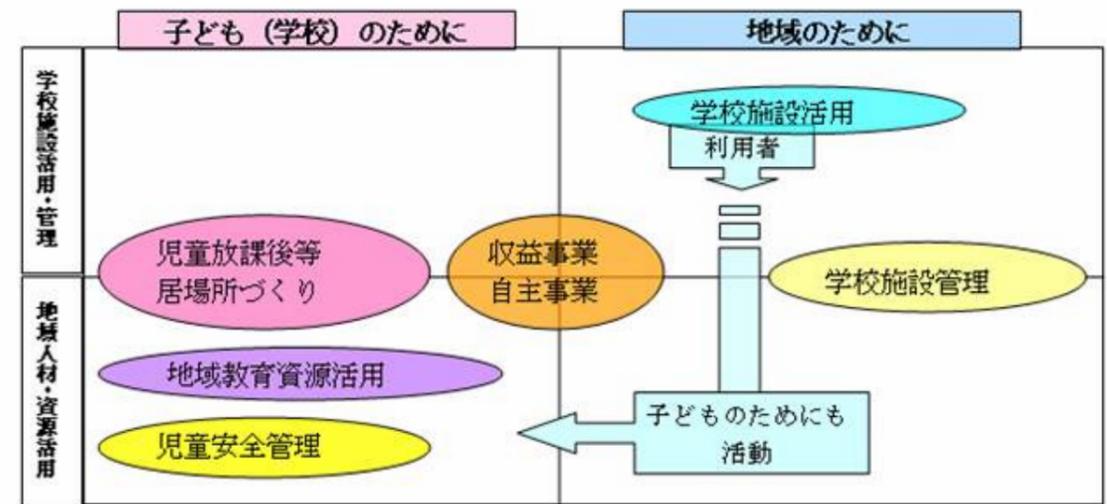
資料)練馬区「平成18年版練馬区勢概要」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

(4) 学校応援団・学校開放

① 学校応援団推進事業

■ 学校応援団は、地域の人材活用と学校施設の有効活用を図る組織で、PTAや町会・自治会、青少年委員などの地域住民を主体とした、小学校を応援する組織である。放課後等の小学校で児童が遊び・学び・読書などの居場所として過ごせる仕組み(児童放課後等居場所づくり事業)を、学校応援団が地域人材を活用して担っている。

図表3-40 学校応援団推進事業

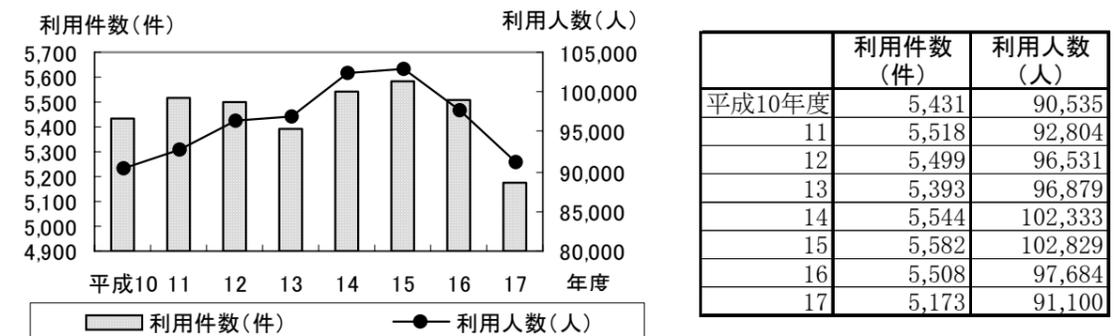


資料)練馬区資料より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

② 学校の地域開放推進

■ 小学校教室開放の年間利用は5,000件を超え、利用者も90,000人以上である。

図表3-41 教室開放の利用状況

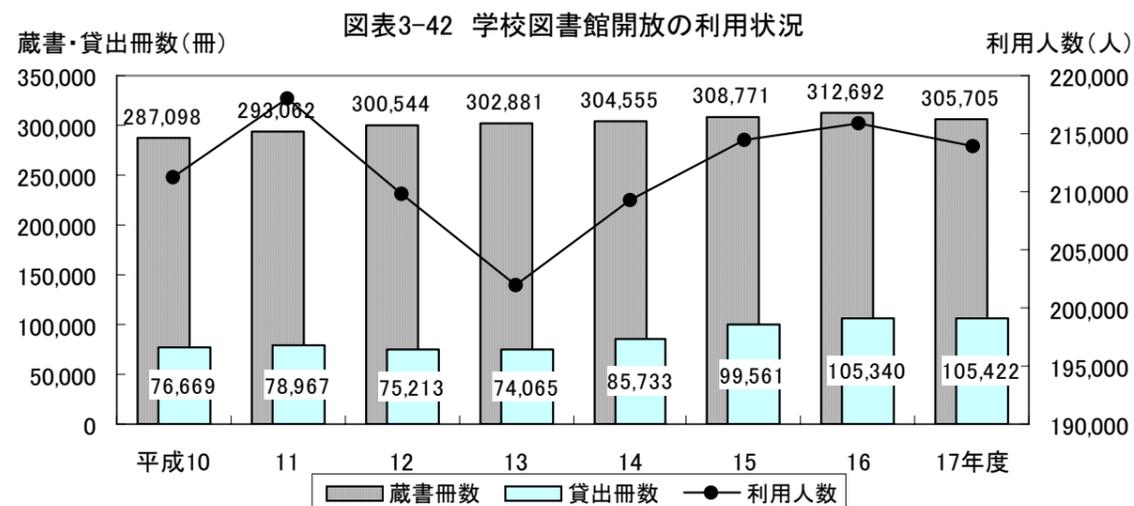


資料)各年とも練馬区「練馬区教育要覧」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

当該分野の現状を示すデータ

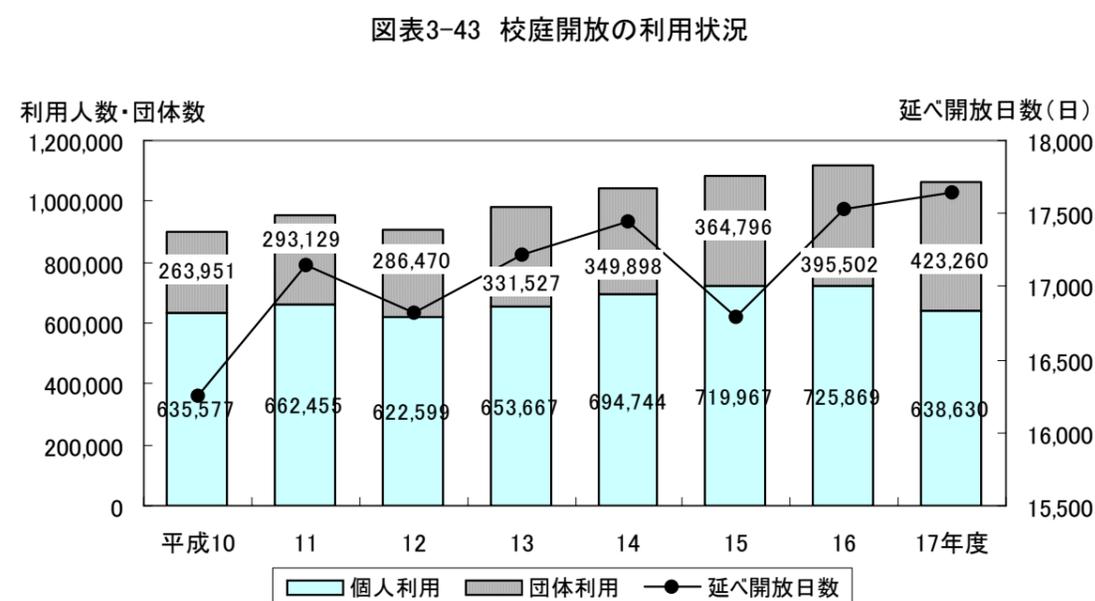
(4) 学校応援団・学校開放

■学校図書館開放は、45小学校で実施しており、利用者は、20万人超、貸出冊数は10万冊を超える。



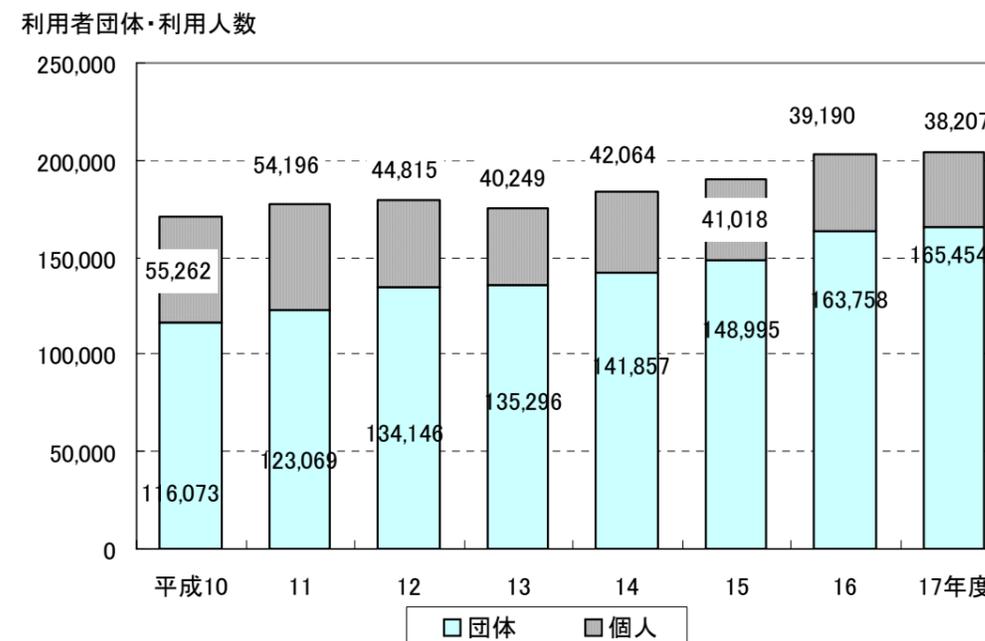
資料)練馬区「練馬区統計書」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

■校庭開放は、69小学校、100万人程度の利用が、体育館は、36校(32小学校、4中学校)で約17万人、プールは、9校(小学校)約7千人が利用しており、いずれも活発な利用状況である。



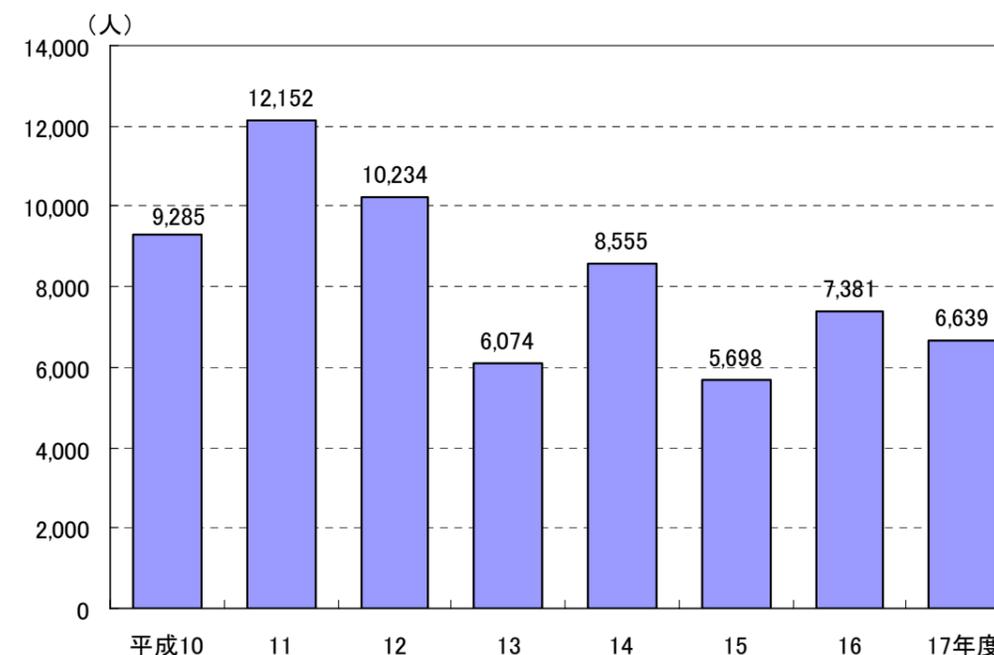
資料)練馬区「練馬区統計書」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

図表3-44 学校体育館開放利用状況



資料)練馬区「練馬区統計書」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

図表3-45 開放プール利用状況



資料)練馬区「練馬区統計書」より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

当該分野の課題に対応する事例

関連する課題	事例名称	事例の概要
異年齢交流による思いやりの心の醸成	八街（やちまた）市幼小中高連携推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 「子ども達に多くの体験をさせ、多くの人とかかわらせることを重視する」ことが教育上必要であるとの考えから、幼小中高等学校（市内には公立幼稚園3園、公立保育園6園、小学校6校、中学校4校、県立高等学校1校、私立高等学校1校が立地している）連携を図ることとした。具体的な活動には以下がある。 <ul style="list-style-type: none"> □ゴミゼロ運動への参加：中学生が小学生の面倒を見ながら中学校区の環境美化を実施 □すてきな歌声を母校で！：中学生が小学校で学習の成果（例：音楽合唱の成果など）を披露 □夢を語ろう「夢集会」：小中学校合同行事の一つ。各人が自分の夢を語り認め合い・励まし合う。 □小学生が中学生の活動を参観：小学生が中学校の生徒集会を参観 □中学生による読み聞かせ：中学生が小学校などで読み聞かせを実施 <p>中学校区単位で実施しており、その連携教育や活動内容は各区によって異なっている。</p>
	高校生と幼稚園との交流学習（磐田農業高等学校、長野幼稚園）	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園児が、畑や花壇、植木鉢などでの栽培や体験を通して、自然への畏敬の心、科学する心を育み、また、高校生との交流を通じて人との関わりを学ぶ機会を持つ。 対象校は磐田農業高等学校の生徒であり、4月籾まき、5月田植え、6月かぼちゃ栽培など年間を通じた交流内容が用意されており、各事業が行事的・一過性とならないよう配慮している。 幼稚園児にとっては、農業体験を通じて科学の心を養い、また共同作業による助け合い、年長者に対する頼もしさ・信頼の心などを醸成する機会となっている。また高校生にとっても年少者に丁寧に伝えることで思いやりの心を育む機会となっている。
生涯学習による学習成果の社会還元	富山県民生涯学習カレッジ	<ul style="list-style-type: none"> 平成7年度から、県民が学習成果を生かして、ボランティア講師（県民教授）となり、講座を開講している「自遊塾」を開始。現在、63人の県民教授が自ら企画し開設した72の講座を、受講者とともに自主運営している。
	佐賀県立生涯学習センター	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習の成果をゲスト講師やボランティアなどとして社会に還元していく手立てや公民館等でのコーディネートの方法を提案したハンドブック（「学習成果の活用を求めて」）を作成。有効な人材バンクのつくり方、学習プログラムの企画の方法のほか、ゲストティーチャーへの謝金や、ボランティア活動の保険についてのQ&Aも入っている。 また、県民カレッジの高単位取得者等を対象に講師や指導者としてのスキルアップを図るための「マイスター講座」を実施している。
	館山市教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> 千葉県館山市では、人づくりのための仕組みである「館山ふるさと大学」において、自然、歴史、生活の分野を学ぶ「ふるさと講座」を開講しており、修了した人が、その学習成果を生かして、地域講師の指導の下で、インターネット上で館山のふるさとの魅力を発信する「ふるさと大辞典」（デジタルコンテンツ）を作成している。
	とはなにか学舎（掛川市）	<ul style="list-style-type: none"> 掛川市では、「とはなにか学舎」という生涯学習講座を開講し、全国的・国際的視野に立って、きらりと光る小都市の将来像を描くことのできる生涯学習リーダーを養成している。特徴的な授業としては、掛川の名所・名施設である掛川36景を学習の素材とし、掛川固有の歴史、風土、文化、産業等を学ぶ「学びのバス」がある。 とはなにか学舎の卒業生には、「とはなにか学士」という称号が与えられ、卒業生の約8割が参加して「とはなにか学士会」という任意団体を組織し、つるし飾り教室や、歴史的な史跡の現地視察による調査・取材など様々なサークル活動を実施しているとともに、教育委員や社会教育委員などにも採用されている。
北九州市教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> 市民の多様化・高度化する学習要求に応え、公民館活動を活性化するために各種の指導者養成講座修了生の中から推薦された者を「生涯学習コーディネーター」として活用し、全地域公民館に配置している。生涯学習コーディネーターは、公民館事業の企画・運営への参画、地域住民からの学習相談への助言、公民館広報誌の作成などを行う。 	

資料)報道資料等各種資料をもとに三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成